

遊

遊館便り

NO.311

4

遊遊館便り 4月号

今月のトピックス

1. 理事長より新年度のご挨拶
2. 活動報告：訓練生48期スタート、ふっさ桜まつり、寮生にインタビュー、新人スタッフの紹介
3. 元寮生・訓練生は今…
4. 寮生・訓練生の状況／今月の1枚

2025年4月20日発行 発行者：遊遊館便り編集部
住所 〒197-0011 東京都福生市福生2351-1
電話 042-553-2575



春は旅立ちと出会いの季節です。

寮では3月末で修了した訓練生、4月から大学生、正社員になる寮生らの背中を見送りました。訓練生は6か月、寮生とは2年以上を共に過ごしました。この間楽しいことより、しんどかったこと、不安だったことの方がきっと多かったことでしょう。でもその中で自身や他人と向き合い、様々な体験を経たことで、一回りも二回りも逞しくなり、巣立っていきました。彼らにその実感はあまりないようですが、毎日見ている私たちはその変化がよく見て取れます。人はうまくいかなくなると、つい、あの選択は間違っていたのではないかと考えがちですが、そうではなく、“自分が選択した道を正解にする努力”が大事で、これから彼ら自身に求められることだと思います。

また、3月末にYSCグローバルスクール（以下「GS」という）が卒業式を行いました。決して自ら望んで来日した子ども達ばかりではありません。想像してみてください。ある日突然、言葉も文化も食生活も違う、友達もいない異国に連れて来られたとしたら…。様々な事情があつてのことですが、日常生活や将来への不安、心細さでいっぱいだったと思います。GSはいつ行っても賑やかで明るい声が絶えない場所ですが、その笑顔の裏には、大変な努力と辛い時間があつたのではと推察します。彼らがGSと出会い、日本語が話せるようになり、仲間ができ、進路や今後の見通しがたち卒業式を迎えられたこと。大変嬉しく思います。

そして、4月。訓練生48期と大学最後の年になる寮生を新たに迎えました。また、法人全体としては、4名が入社しました。共に切磋琢磨しながら、成長していければと思います。

（理事長 河野）



新年度が始まりました 🌸 3月28日に訓練生の46期生3名が退所し、4月1日に48期生が4名入所しました。48期は全員都内出身で、平均年齢22歳と若い男性陣。当然のことながら、就労経験の浅い彼らと一緒に、6か月間様々な活動を通して、体験とコミュカと体力をコツコツ積み重ねていきたいと思います



←48期開講式

ふっさ桜まつりを盛り上げました♪

今年も福生団地自治会からの依頼で、3月29日(土)・30日(日)に多摩川中央公園で行われた、第42回ふっさ桜まつりで焼き鳥(模擬店)を焼く+販売のお手伝いに行ってきました。

当初、2日間で3000本の焼き鳥を売る予定でしたが、初日は雨のため、1000本に満たず、休憩時間多めの1日を過ごしました。翌日は天候に恵まれ、他の団体が売り切れなかった数百本と合わせて、2000本売り尽くしました。



2日目はお祭り開始から列が途切れることなく、16時の終了時間を超過し、17時まで続きました。この間30分程しか休憩がとれず、みんなよく頑張りました。また、販売時の声かけもよかったせいか、福生市の取材がやって来て、広報やYouTubeに掲載になるかも!と、動画や写真を撮っていかれました。お昼ご飯や休憩の際には周囲の方からいろいろと声をかけていただき、好評をいただきました。

参加した訓練生の中には「自分は就職した時のことを想定し、8時間働けるか試したい!」と意気込み、最後まで焼き鳥を担当してくれたり、終了後に自治体の方から労いの言葉をいただくと、寮生訓練生らが声を出して御礼を伝えていたのが印象的でした。

(スタッフ谷口)



さて、どんな場面でしょう?



↑初めての給料です!と
嬉しそうなA君17歳



↑お揃いの白い長靴を履いて、市内の
福祉施設へ定期清掃に出発!



↑法人内の事業所の引越作業。
脚が壊れた会議机をインパクトドライ
バーを使って分解中

卒寮するO君に話を聞きました



家庭訪問を経て、2019年3月末に入寮し、明日卒寮する32歳O君に話を聞きました。

中学で不登校になり、高校も1か月で中退した。18歳からおおよそ2年間、中学の時に世話になった人に紹介され、週2日午前中だけ花き農家の手伝いに行き、これが初めての仕事だった。26歳までの間、高校進学も視野に中学の学び直しをしてみた時期もあったけど、なかなか続かず、仕事を辞めてからは、何もしていない日が続いた。

ある時からYSCの訪問が始まった。職員と話すのも、訪問時に職員と出かけたりするのも嫌じゃなかったけれど、親を交えて話すのが嫌だった。入寮前に1回見学には来たが、行きたい気持ちは全くなかった。ある日の訪問で、親に「出ていけ!」と言われ、職員を待たせて申し訳ない気持ちの中、布団や着替えなど、最低限のものだけ詰めて、職員の車に乗って寮に来た。

寮に悪い印象はない。家にいるよりマシだった。入寮していなくても、通信制高校には入学していたと思うが、入寮したことで親への感情に変化があった。ほとんど寮内のイベントには参加しなかったが、理由は特にない。そういう性格ってだけ。

入寮した年の7月、通信制のN高に進学した。学費や通学の負担が1番少ない、学校からのサポート体制を基準に選んだ。年に数日あるスクーリングが何よりダルかった。レポートは全て期限内に提出し、コロナ禍ではあったが、順調に3年で2022年6月に卒業した。

中学不登校の原因はイジメ。現役ではほぼ高校に通えなかったが、頑張れた理由は、26歳という年齢になり、求人票にある“高卒以上”という言葉ちゃんと受け止められたから。さすがに中卒はどうかかな~と思った。将来を考えた時、年収ではなく、まともな人生を送るためには、最低限高校は卒業せざるを得ない、という思いが原動力になった。勉強は嫌いではないが、マジメではない。レポートの未提出があると学校から電話がかかってくるので、それに出たくなさ過ぎたから、結果的に期限を守れただけ。

高校卒業後すぐ、ビソーと放課後等デイサービスの実習にそれぞれ1か月行き、年末の1か月、年賀状印刷の短期バイトをした。

2023年4月から東京都の雇用創出・安定化支援事業を利用し就活を開始。2つの企業に実習に行ったが、マッチングせず、2024年度も同様の事業を利用し、7月に実習を開始した企業に9月から契約社員として採用された。そして、この4月から正社員になった。職種はSE。3つの実習先はいずれもIT系。中学の頃から関心があり、パソコン資格を取ったりしていた。採用されたSESの企業は、研修内容が充実していて、営業さんの話を聞いていても社員ファーストだと感じるし、定期的に上長が面談をしてくれて、とてもいい会社だと思う。

卒寮を明日に控え、唯一の心配はタンパク質不足になりそう💧ということ。寮ではバランスよく食べられたし、よく出る小松菜と菜の花のおひたしはよかったな~、自分じゃ作らないと思う。意識して食事をしないと野菜ばかりでカロリーやタンパク質不足になりそう。

今ひきこもっている人に伝えたいこと...偉そうなことを言うつもりはないが、自分は26歳で入寮したので、高校を卒業する頃には29歳。30歳までに何とかしたいという気持ちはあった。自分はナルシストな部分があるので、30歳目前で無職はないな。興味のあったIT職に就いて箔をつけたい!とちょっとかっこつけたい部分があった。どう生きていきたいか、どうかっこつけていこうか、という2軸で考えた時、前者を突き詰めると、自分には何もないので、なんでもいいや!とネガティブな方に行く。でも、どう自分らしくかっこつけるか、と考えると、現実と向き合えていないと思われるかもしれないが、希望を持てた。過去はどうあれ、これからの人生にどうかっこつけるか、と考えてみてはどうかなと思う。ただ、人は結局必要に迫られないと動けない、とも実感している。

もしこの先、転職することがあれば、多摩サポに相談しようかなと思うので、利用者カードは捨てずに持って行く。仕事上の相談は会社でできそうなので、今のところ卒寮しても大丈夫だと思う。

元寮生・訓練生は今・・・



元気かな～



2017年から1年9か月寮生として過ごしたTK君。自室にこもり、ゲームに没頭していた状況を家族が心配し、家庭訪問を経て入寮。作業やアルバイトを経て卒寮し、福生市内に居住中。時々多摩サポに顔を出すTK君に話を聞きました。

卒寮してもう5年。今もグループホームの宿直とコンビニでの仕事を続けている。金曜と土曜は家にいるので、多摩サポの利用者に遊びに来ていいよ!って言ってるんだけど、誰も来ないんだよー(笑)これから帰って部屋の掃除をしようと思うんだけど、ルンバが行方不明。どこを探してもないから、家出したのかも・・・?!「ルンバ 行方不明」と検索すると“あり得ない”って出てきた(笑)人が来れるようにちゃんと片づけないと!!と相変わらず陽気で面白いTK君でした。

入寮中も他の寮生に積極的に話しかけたり、部屋はいろんな寮生が出入りしていたりと、ムードメーカーでしたが、部屋は汚かったなあ。卒寮後も仲のいいスタッフとの交流は続いており、多摩サポの利用者を気にかけてつても、決して偉そうではなく、相手に気を遣わせない関わりは、天性のものだなと思えるのでした。



新人スタッフの紹介

昨年の12月に入職しました大賀(おおが)光太郎と申します。

多摩サポが拝島駅近くにあった時に、利用者としてYSCの行事やスポーツを中心に様々な活動や、イベント時の制作物づくりなどに積極的に参加させていただきました。

こうした多くの活動を通して自分に自信を持つことができるようになり、この経験

がその後の美大への進学、教職へと繋がっていると感じています。そんな思い出のあるYSCの職員になったことをとても嬉しく思います。サポートされる側だった私が今はサポートする側の立場になっているということに私自身驚いています。これまでの経験を活かして、楽しむことや行動し続けることの大切さを伝えていければと思っています。今後ともよろしくお願いします。

◆今月の寮生・訓練生の内訳◆

【年齢】17歳～42歳 【平均年齢】24.4歳

【状況】まだまだぎこちない印象の48期生ですが、恒例の福生市内のポスティング作業を47期生やスタッフと行い、市内散策も兼ね、少しずつ慣れていってくればと思います。

◇編集後記◇

都内では珍しく桜が入学式まで残っていたように思います。今春は学習支援の事業所で高校や資格合格の知らせを何度か受けたり、桜餅を手作りしたり(最後の仕上げだけ)、知人が昇格したりと、春を感じながら過ごせました。春ってなんかワクワクするし、イイですね♪(遊遊館だよりがピンクで浮かれているのはそのせいです)。

卒寮するO君の言葉にあった「どう自分らしくかっこつけて生きていくか」という視点・考え方は個人的にステキだなと思いました。

今月の1枚



昨年に引き続き本部横のフレンドシップパークの満開の桜をお届けします♪